

災害と広報～「建設技術研修会」から～

令和6年2月2日、滝沢市役所にて、岩手県建設技術協会滝沢支会主催の「建設技術研修会」が開催され、東京都水道局職員の植竹清美さんに「東日本大震災に学ぶ～自然災害に備えた広報施策」をテーマに講演いただきました。

実際に被災した方の意見では、災害時に必要なものとして「水」がトップにあげられる一方で、震災で断水した時にどこに行けば水をもらえるのかについては大半の方が知らなかったとのことでした。自治体の広報は、災害が発生する前から十分な備えとして行っていく必要があるとの内容でした。



災害の備え

● 滝沢市の備え

【給水車】

容量
2,000リットル



【水道管の耐震化】

古くなった水道管を耐震管に換える工事を行っています。耐震管は地震の揺れに対し、伸縮やたわむことにより抜けるのを防ぐ構造になっています。



水道管を新しくする時は、地震に強い管に入れかえています。

● 家庭でできる災害の備え

災害時に必要な水は飲料水として1人当たり1日3リットルで、3日分の備蓄を推奨しています。



【水道水の備蓄】

蓋のできる容器に水を満タンに入れて、冷暗所で保管。冷蔵庫で3日、常温では1日で水を入れ替えてください。



【市販のペットボトル水の備蓄】

消費期限や保管方法の記載事項に従い、保管してください。



【浴槽での備蓄】

生活用水として役立ちます。

令和7年4月1日、滝沢市の水道事業は50周年を迎えます

昭和50年4月1日に水道供給開始した滝沢市の水道事業は、まもなく50周年を迎えます。今まで水道事業を支えてくださった方々への感謝を忘れず、これからもみなさまへ安心・安全な水を届けます。

ちやぐ水だよりでも滝沢の水道の歴史などについてふれていきますので、滝沢の水や水道のしくみについて興味をもていただければ幸いです。



令和6年度から上下水道部の組織が変わります

水道行政は、令和6年度より、厚生労働省から国土交通省及び環境省へ移管されます。

これにともなって滝沢市上下水道部でも、組織改編を予定しております。

随時、HPなどで情報を更新していきますので、業務内容や連絡先のご確認をよろしく願いたします。



上水道のHPはコチラ